

# 農業



令和3年4月号  
会誌 No. 1676

## 目次

### 巻頭言

コロナと大学，そして農業……………高野 克己 3

### 論 壇

AI と農業……………西川 孝一 4

### 農業懇話会

天敵利用を基幹とした IPM を農業経営に取り込む……………柿元 一樹 6  
—SDGs 時代の実践的害虫管理—

### 表彰農家訪問

阿蘇の大自然を生かした草地利用型酪農の展開……………本郷 秀毅 25  
—熊本県阿蘇市に倉岡 繁さんを訪ねて—

### 研究の最前線

根域環境制御装置 (N. RECS) の開発と  
花き植物を中心とした植物生産への利用……………窪田 聡 32

### 農業・農村の現場から

多様な事業を生かした実習から雇用につながる農福連携……………澤野 久美 45  
—JA ながさき県央と長崎県立希望が丘高等特別支援学校の取り組み—

## 世界の農業は今

ニュージーランド酪農の強い国際競争力の理由……………荒木 和秋 51

## 私の経営と志

地域に根付くこと……………森園 知 58  
—果物で生活を豊かに—

## 表彰

令和2年度大日本農会賞の受賞者…………… 60  
付：大日本農会と東京農業大学の関係

## 飼料用米多収日本一

「令和2年度 飼料用米多収日本一」受賞者…………… 65

## 統計情報

令和元年農業総産出額及び生産農業所得（全国）…………… 66

## 農政情報

…………… 67

大日本農会だより…………… 68

編集部から…………… 68

## ミニ情報

牛乳乳製品統計（令和3年2月分）…………… 64

### 表紙写真説明

### 茶園管理の機械化（鹿児島県枕崎市）

農研機構果樹茶業研究部門枕崎研究茶業拠点では、世界各地から収集したチャの遺伝資源を素材として、「やぶきた」に代わる高品質な煎茶用品種のほか、抹茶・粉末茶用品種、機能性や耐病虫性を有する品種などの育成に取り組んでいます。

表紙は機械で整枝を行っているところです。チャの収穫や整枝といった茶園管理作業は、人の手からはさみ、そして可搬型摘採機・剪枝機（左）へと変化し、近年では乗用型管理機（右）が一般的となってきました。わが国における茶園管理の機械化は、高精度での管理を可能にし、チャの品質を落とすことなく大規模生産を実現しました。近い将来、スマート農業技術によって、無人で茶園を管理する時代が到来しそうです。

（写真および文：農研機構果樹茶業研究部門 枕崎調整役 根角 厚司）